



国立研究開発法人日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

腎疾患実用化研究事業

国立研究開発法人
日本医療研究開発機構

戦略推進部 難病研究課

難病研究課 腎疾患実用化研究事業

2016年度1次公募概要

背景

- ・我が国における腎疾患患者は年々増加傾向にあり、国民の死因の第8位を占め、平成24年末には約31万人が透析療法を受けるなど、国民の健康に重大な影響を及ぼしている。
- ・特に、腎機能低下が長期にわたり進行する慢性腎臓病（Chronic Kidney Disease CKD）は、発症・進展に生活習慣が関わっており、近年の科学的知見によれば、生活習慣の改善や薬物療法等によって進行予防が可能な疾患となってきたにもかかわらず、その重要性が必ずしも十分に理解されていない。

透析導入患者の主な原疾患
 糖尿病性腎症、慢性糸球体腎炎、腎硬化症

今後の腎疾患対策のあり方について
 「腎疾患対策検討会」
 (H20年3月とりまとめ)

腎疾患対策の推進

普及啓発

- ・CKDの重大性・予防法等を幅広く普及啓発
- ・マスメディア、インターネット、保健指導の場などあらゆる機会を活用

人材育成

- ・腎臓専門医の育成
- ・専門医・かかりつけ医の資質向上
- ・専門的な保健指導を行う保健師、看護師、管理栄養士等の育成

診断水準の向上

- ・CKD診療ガイドラインの作成、かかりつけ医への普及
- ・指導管理の技術の向上
- ・糖尿病・循環器疾患等の治療との連携

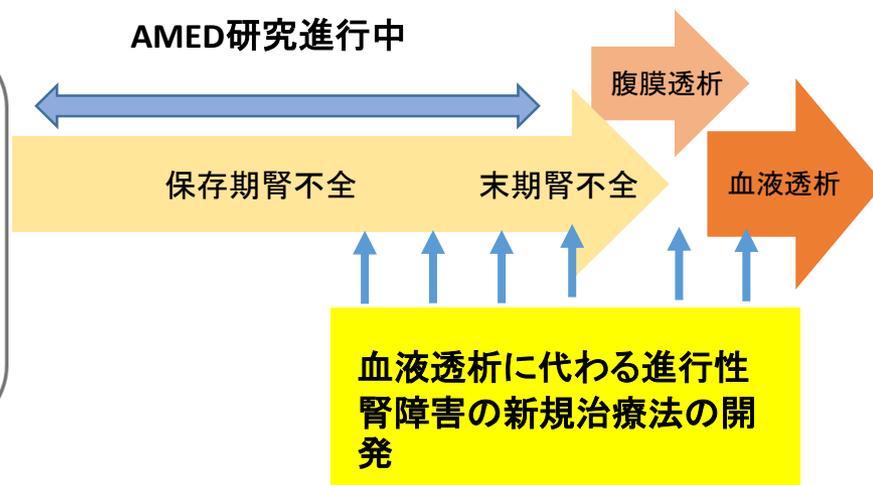
医療連携体制

- ・かかりつけ医と専門医療機関との連携促進
- ・保健指導・栄養指導の推進
- ・地域における医療連携システムの構築の推進

研究の推進

- ・診療のエビデンス確立と実践の研究
- ・病態解明と治療法開発に関する研究

AMED研究進行中



腎機能異常の重症化を防止し、慢性腎不全による人工透析導入への進行を阻止

難病研究課 腎疾患実用化研究事業

2016年度1次公募概要

* 体外循環を利用した医療機器の開発に繋がる研究は対象外とする。

年間12,000千円程度、最長3年

血液透析に代わる進行性腎障害の新規治療法の開発に関する研究(原則、5年以内の非臨床POC取得を目標)

病態解明
シーズ選定 等

前臨床研究
動物モデル
薬効・薬理試験
薬物動態試験
毒性試験

トランスレーショ
ナル・リサーチ
治験開始

臨床POC

治験外臨床試験・その他の臨床研究
(ガイドラインへの反映に資する研究)等

基盤構築(基礎的研究基盤・データベース構築 等)